

タイトル：不動堂

不動堂は国宝に指定されています。この不動堂は一般公開ではございませんが、真言密教において特に尊ばれている不動明王（サンスクリット語では Acala と呼ばれています）と、不動明王につき従う8人の八大童子が祀られています。真言密教において、不動明王は大日如来の出現だと言われていています。恐れと強さから密教の真実を届けると言われますが、同時に、全人類に対する深い慈愛持っています。このため、鬘めっ面で、剣と縄を持ち、炎の光背と共に表現される事が多いです。

実際の創建日は不明ですが、建久9年（1198年）に、鳥羽上皇の皇女、八条女院を願主として建立されたと伝えられています。建立当初は阿弥陀如来が祀られていたとも言われています。もともと不動堂は高野山の中でも別の場所で建立され、14世紀に再建されました。1908年に現在の場所へ移設され、1996年に改装されました。不動堂は、建築的にも固有の建物です。平安時代(794-1185)の住宅の要素に加え、檜皮葺で作った傾斜のある屋根など伝統的な寺院の要素も含まれています。

八大童子は、鎌倉時代(1185-1333)に人気であった彫刻師、運慶(1150-1223頃)により作られたと言われていています。現物は高野山霊宝館にあります。